

## 業界トピックス

### 【製造業】

- ・受注状況の悪化(分析機器)
- ・デフレ解消する気配がない。受注単価が相変わらず厳しい状況(工業用銘板類、シール、ラベル)
- ・仕事量には恵まれている。人材確保にやや問題(機械加工全般、各種試作品、開発品)
- ・中国市場の低迷(セキュリティ監視用レンズ製造等)
- ・採用に応募がないこと(印刷関係)
- ・輸出の減少による国内製造業の不安から受注減の見通し(自動車用部品の製造)
- ・中国の景気による国内の不況感。
- ・発注状況が悪い(通信機器製造)
- ・二年ほど忙しい状況でしたが四月以後潮目が変わった感じがする(プラスチック製造)

### 【建設業】

- ・絶対的に工事量が少なく、競争が激しいため賃金の上昇は難しい状況。このままでは職人がいなくなる。夢を持つためにも、もっと良い給料にならなければ将来的に建設業は厳しい(塗装工事業)
- ・受注先が遠方、地方が多くなった(電気工事、建設工事業、太陽光発電設置工事業)
- ・元請工事の増加(病院における高清潔区域等の専門工事)
- ・仕事量は増えているが、人員不足で、職人がいない(鉄骨建方、本締、鍛冶工事)
- ・公共工事の減少、若い人の雇用が安定していない
- ・求人に対する応募の少なさ(住宅リフォーム工事、エクステリア、庭工事)
- ・建設業界新規入職者の不足、減少(電気設備工事、設計施工)
- ・景気は思った程上向きではない。雇用若年者のレベル低下(消防設備工事業)
- ・消費税の影響が大きいと感じている。一般のお客様の金額の多い工事が現時点でかなり少なくなっているため、10%になったらさらに厳しくなると思う(建築工事業)
- ・消費税が上がる…家計にひびく(住宅基礎工事)
- ・2020年東京オリンピックに向けて、建設需要増加が傾向ではある中、内装仕上業者は、未だに実績がない。今年の秋頃からの需要がどうなってくるか、少々不安(内装仕上工事全般)

### 【小売・卸売業】

- ・不安材料のみ(理化学機器)
- ・国内委託加工先の減少(プラスチック製品)
- ・小売は冷えきっている(酒類製造、販売)
- ・景気が多少悪い気がする(不動産仲介業、管理業務、貿易業)
- ・製造委託先合併の為、仕入単価上昇(自動車用補修用品卸売業)
- ・消費税率上昇の気運に伴う消費者の警戒感(生鮮青果物)
- ・神奈川県内の景況感到停滞が感じられます(電設資材卸売業)
- ・Web(インターネット)での購入が多くなっており、ご来店(購入客数)が減ってきている。売場のショールーム化が心配される(家電製品全般、おもちゃ全般)
- ・採用が難しくなった(酒類、飲料、食品)
- ・メディア等の影響があると思いますが、少しずつ健康に対する意識が高まってきている(健康保持関連製品、サプリメント、他)
- ・近くにドラッグストアがあり値段の違いではかなうわけではない。
- ・年初からの株安で、高額品の動きが鈍くなってきている(美術品卸、小売)
- ・公共事業の競争激化により粗利益の低下と物件の低下は経営状況に影響あり、民間の買い控えにより売上等に影響(事務機器、事務用品販売)
- ・来店者数の減少(食品、日用品の販売)
- ・全体的な買い控え(寝具販売)
- ・大型店の進出により個店が今までになかったような売上不振に落ちついている。
- ・不況感を強く感じている(青果、食品)
- ・客数の減少(婦人服小売り)
- ・全体的に不況である。特に小売業において零細店は維持困難である。
- ・消費者一般として大手ディスカウントを目玉として、ワンストップを担っている大型店が消費者を集めている。
- ・大量発注、大量消費の中、中小零細店は、仕入値段が大幅に高く品物も限定されてしまう状況(酒類、穀物、切手、宅配便取次ぎ、他)
- ・お客様に余裕がない(雑貨)
- ・呉服関係は、顧客の高齢化、慶事時の不着用などで、売上減少。今後ますますこの傾向になると思われる(呉服関係等)

### 【飲食・サービス業】

- ・店＝客数の減少 出前＝件数の減少(宅配、弁当)
- ・仕入単価が少々、高くなっており、利益率が下落。新規の来店者を増やす努力をしているが、まだ結びつかない現状(レストラン営業)
- ・中小企業の景気が良いとはいえない(行政書士、社会保険労務士業務)
- ・景気が好転する要因はない。参院選後に更に厳しい状況が予想される。
- ・価格競争が続き、利益を上げれない。続けるのが精一杯(ネイルサロン)
- ・最低賃金の上昇や社会保険の法改正などによる、コスト上昇分について、売価へ反映する折衝を顧客と行っている。少しずつではあるが、理解をいただけるようになってきた(ビルメンテナンス)
- ・株価の下落など不安定がある(土地、建物、賃貸)
- ・大きな変動があると対応が難しい(建物清掃、管理業務)
- ・前年の8月までが不況だった。年内は、かなりの引き合いがあるが、一時的な状況(特需)(精密機械の設計、製作)
- ・大企業が言う様に、景気の良さは感じない。仕事はあるが爆発力ではなく低空の感じだ(運送業)
- ・建設業は全般に好調。製造は、国内への受注回復が難しい。インターネットを利用した個人事業者は増大(税理士、コンサルタント)
- ・特殊器機の低下による不況感(真空機器、設計製造、販売)
- ・営業スタッフが集まりにくい(情報通信サービス業)
- ・社会全体で物価が値上がることで、クリーニングの利用をおさえる方が増えてる。また、雇用する側としては最低賃金が上がる一方なので、売上(利益)が上がらないのに、従業員へ支払う額は増えるので厳しい(クリーニング)
- ・政府の機敏な対応を。景気最悪(ゴム金型、道路ジョイント、機械加工)
- ・不況感の感触はある(ポンプ、モートル修繕販売取替工事)
- ・景気感の減速、停滞(電気、空調設備工事及びメンテナンス)